

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-02-02-02
事務事業名	地域振興活性化事業	根拠法令・要綱等	備前市補助金等交付規則
事業開始年度	S46~	問合せ先	
大項目	基本目標	担当課(室)	商工観光課
中項目	基本施策	職・氏名	商工労政係長 中島 和久
小項目	施策	電話	0869-64-1832

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	事業者、商工団体
目的(何のために)	地域活性化につながる事業を実施、支援することにより、市外観光客の動員を図る。
行政活動(どのような方法で)	備前まつり(花火大会含む)、日生夏祭り(花火大会含む)、サマーフェスティバル(花火大会含む)、さわらまつり、三石夏まつり、片上ひなまつり、ひなせ甚九郎、まほろばウォークなどのイベントを実施する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地元商業、産業の活性化を図るため、各種イベントを実施し、観光客等再来を増やす。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	補助件数	件	9	9	8
	イベント集客数	人	150,000	169,000	187,000
	直接事業費	千円	17,953	13,786	9,750
	人件費	千円	8,991	8,079	7,630
	事業費計	千円	26,944	21,865	17,380
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	市一般財源	千円	26,944	21,865	17,380
	必要人員	人	0.91	1.09	1.08
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	補助件数	説明			
	結果指標量	件	9	9	8
	対前年比	%	-	100.0%	88.9%
	活動コスト	円	26,944,000	21,865,000	17,380,000
	単位当たりコスト	円	2,993,778	2,429,444	2,172,500
	イベント集客数	説明			
	結果指標量	人	150,000	169,000	187,000
	対前年比	%	-	112.7%	110.7%
	活動コスト	円	26,944,000	21,865,000	17,380,000
単位当たりコスト	円	180	129	93	

事業の成果			
成果指標名	イベント集客数	式又は説明	各種イベントの来場者数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	150,000	169,000	187,000
対前年比		112.67%	110.65%
到達目標値	187,000	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的・意図の目的を評価して下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)			
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	D		
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識			
対象	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	各イベントは、地域に根づく祭ではあるが、一過性のため、本来の地域活性化に結びついていない。			
	事業開始当初の目的から変化している				
行政活動	対象を見直す必要がある				
	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない				
事業の意図する成果	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない			効率性評価<A-E>	
	市民、団体などから要望・要請の強い事業である			C	
市の関与	本市が関与しなければならない事業である			課題認識	
	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい			今のイベントは、合併前を踏襲しており、効率が悪い。同じようなイベントがあり、今後見直し、統合していく必要がある。事業費は、コスト削減に努めており、削減効果はでてきており、統合等効率よく行えば、事業費、人件費ともっと削減できる。	
コスト	事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である			有効性評価<A-E>	
	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい			C	
効率性の評価	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識			
	サービスを低下させずにコストを低減することは困難	今のイベントは、合併前を踏襲しており、効率が悪い。同じようなイベントがあり、今後見直し、統合していく必要がある。事業費は、コスト削減に努めており、削減効果はでてきており、統合等効率よく行えば、事業費、人件費ともっと削減できる。			
職	受益者負担額を見直す余地がある	有効性評価<A-E>			
	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	C			
目的達成度	事業に関するOJT(職場研修)は行われている	課題認識			
	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	市内外の観光客等の動員には有効な手段ではあるが、イベントが一過性であるため、必ずしも地域活性化につながっていない。			
有効性の評価	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識			
	成果指標は前年度より向上している	C			
成果向上の可能性	成果は向上しており今後も向上の見込みである	課題認識			
	今後、成果指標は向上する余地がある	市内外の観光客等の動員には有効な手段ではあるが、イベントが一過性であるため、必ずしも地域活性化につながっていない。			
市民参画度	事業について積極的に情報提供している	課題認識			
	事業実施等で積極的に市民意見を反映している	市内外の観光客等の動員には有効な手段ではあるが、イベントが一過性であるため、必ずしも地域活性化につながっていない。			
市民参画度	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	課題認識			
	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	市内外の観光客等の動員には有効な手段ではあるが、イベントが一過性であるため、必ずしも地域活性化につながっていない。			

平成20年度の状況		説明	各種イベントを実行する各実行委員会を支援しながら、効率の良い事業実施を目指している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	8	結果指標量
	成果指標量		187,000

総合評価		評価区分<A-E>	D	
備前まつり等地域活性化につながるイベントの実施、支援することにより、市外観光客の動員増を図っているが、今後もコスト削減を徹底し、イベントの統合、廃止を検討していく必要がある。				

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	事業実施方法の見直し	H22	イベント統合、廃止により補助金の削減